

2. 火山の概況

(平成 17 年 2 月 24 日 ~ 平成 17 年 3 月 2 日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山では、噴煙活動が継続し、火映が時々観測された。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は3。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いた。レベルは2。

霧島山では御鉢の噴気活動がやや活発であった。御鉢のレベルは2、新燃岳のレベルは1。

口永良部島では地震がやや多く発生した。レベルは2。

諏訪之瀬島では噴火が発生した。レベルは3。



図1 各火山の今期間の火山活動度レベル及び記事を掲載した火山（火山名に下線）

号	対象期間	雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	吾妻山	草津白根山	浅間山	三宅島	福徳岡ノ場	九重山	阿蘇山	霧島山	桜島	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
9	2/24-3/2	●	●	●			●	●			●	●	◇	◇	●	▲
8	2/17-2/23	●	●	●			●	●			●	●	◇	◇	●	▲
7	2/10-2/16	●	●	●			●	●			●	●	◇	◇	●	◇
6	2/3-2/9	●	●	●			●	●			●	●	◇	◇	●	◆
5	1/27-2/2	●	●	●	◇	◇	●	●	●	◇	●	●	◆	◇	●	▲

号	吾妻山	草津白根山	浅間山	伊豆大島	九重山	阿蘇山	雲仙岳	霧島山(新燃岳)	霧島山(御鉢)	桜島	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
9	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③
8	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③
7	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③
6	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③
5	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③

表1 最近1か月に記事を掲載した火山（左）及び各火山のレベル

注1 記号の意味

- ▲：噴火した火山 ●：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山 ◇：その他記事を掲載した火山
- ：記事を掲載していないレベル対象火山 ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 記事は、▲、●及び◆（注1参照）に該当する火山及びレベル2以上の火山について掲載する。その他の火山については、特記事項のある場合に掲載する。

注3 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● 雌阿寒岳 [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● 十勝岳 [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 300mで推移した。

● 樽前山 [熱]

A火口およびB噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● 浅間山 [噴煙・火映・地震・微動] レベル3 (山頂火口で小～中噴火の可能性)

今期間、噴火は観測されなかった。

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約400mまで上がった。火映が2月27日～3月1日に山麓の高感度カメラで観測された。

火山性地震は1日当たり39～59回、火山性微動は0～2回観測された。

● 三宅島 [熱・火山ガス・噴煙]

3月1日に上空から行った観測¹⁾では、火口周辺及び火口内に大きな変化はなく、赤外熱映像装置²⁾による観測では、火口内の最高温度は150℃以上であった(前回(2月15日)は204℃)。火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は日量2,400～3,300トンで依然として多い状態であった。

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約1,000mまで上がった。

1) 陸上自衛隊の協力による。

2) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、大気その他の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

● 阿蘇山 [土砂噴出・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

2日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、量は約4割であった。湯だまりの表面温度は観測条件不良のため不明であった(前期間は73℃)。湯量は減少傾向にあり、湯だまりの中央部付近で高さ約5m、南西側で高さ1～2mの土砂噴出が観測された。

噴煙は白色で噴煙の高さの最高は火口縁上約500m(前期間300m)であった。

孤立型微動の発生回数は265回で、前期間(365回)より減少し、やや少ない状態であった。火山性微動の発生はなかった(前期間もなし)。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気] 御鉢：レベル2 (やや活発な火山活動)・新燃岳：レベル1 (静穏な火山活動)

御鉢火口の噴気活動はやや活発で、25～28日に時々噴気が監視カメラで観測され、高さの最高は火口縁上約200mであった。

◇ 桜島 レベル2 (比較的静穏な噴火活動)

期間中、噴火はなかった(前期間もなし)。噴煙活動も低調で、鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で降灰は観測されなかった(前期間もなし)。

◇ 薩摩硫黄島 レベル2 (やや活発な火山活動)

地震活動、噴煙活動等の観測データには特段の変化はなかった。

● 口永良部島 [地震・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

火山性地震は、日回数に増減があるものの今期間もやや多い状態が続き、期間中の回数は52回であった(前期間は41回)。火山性微動は、継続時間の短いものが時々発生し、期間中の回数は7回であった(前期間は8回)。監視カメラ(新岳の北西約4kmに設置)による観測では、新岳及び古岳の噴気活動に変化はなかった。

▲ 諏訪之瀬島 [噴火・降灰] レベル3 (小規模な噴火が発生)

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、28日に火山灰を含む噴煙が火口縁上約400mまで上がっているのが確認され、同日午前中に集落(御岳の南南西約4km)でごく少量の降灰があった。また、2日午前6時頃、火山灰を含む噴煙が火口から南西方向に流れているが確認され、集落で降灰があった。

表 2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第 58 号 ↓ (1 日 1 回発表) 火山観測情報第 64 号	24 日 16:00 ↓ 2 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況 (噴火はなし、噴煙・火映・鳴動・地震・微動・地殻変動の状況及び上空の風の予想)。レベルは 3。
三宅島	火山観測情報第 107 号 ↓ (1 日 2 回発表) 火山観測情報第 120 号	24 日 10:00 ↓ 2 日 16:30	活動経過ほか (噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
阿蘇山	火山観測情報第 8 号	25 日 11:00	火山活動は引き続きやや活発 (湯だまりの表面温度高い、小規模な土砂噴出発生、地震やや多い)。レベルは 2。
口永良部島	火山観測情報第 10 号	25 日 14:00	やや活発な火山活動継続。レベルは 2。